

やひこ 議会だより

175号

平成26年10月24日

弥彦村議会

〒959 0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL (0256)94 3131(代)
TEL (0256)94 1028(直通)
FAX (0256)94 3216
<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>
Eメール:gikai@vill.yahiko.niigata.jp



長寿を祝って万歳（弥彦村敬老のつどい）

9月定例議会

4期目の施策に
子育て支援のさらなる強化を（一般質問）…… P12

グランドホテル跡地計画の推進を（一般質問）…… P13

若い農業者の確保を（一般質問）…… P14

子ども子育てアンケート結果は（一般質問）…… P15

9月定例会

9月3日
17日

平成26年第5回9月定例会は、9月3日から17日までの15日間の会期で開かれました。

村長から提案された、平成25年度一般会計及び特別会計、企業会計の決算認定8件、村税条例ほか条例改正4件、平成26年度一般会計及び特別会計の

補正予算6件、定住自立圏形成協定について他2件、計20議案を慎重に審議し、いずれも原案通り全会一致で可決、認定しました。
「学費と教育条件の公私間格差是正に向け、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願を採択し、請願の採択に伴う意見書を全会一致で可決しました。
一般質問では、4人の議員が、観光、農業、子育て支援など、村政に対する質問を行いました。

9月定例会で決まったこと

平成26年度補正予算

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
・ 一般会計	9641万4000円を追加し、総額を38億5876万8000円とする。	・ 総務費	777万円
・ 地方交付税	△1446万円	・ 企画費	777万円
・ 国庫補助金	1348万円	・ 土木費	700万円
・ 繰越金	7753万円	・ 道路維持費	700万円
・ 雑入	1411万円	・ 公園費	500万円
		・ 消防費	499万円
		・ 災害対策費	499万円
		・ 教育費	410万円
		・ 体育施設費	410万円
		・ 諸支出金	2000万円
		・ 財政調整基金費	2000万円
		・ 予備費	3292万円
		・ 国民健康保険特別会計	3060万4000円を追加し、総額を8億4260万4000円とする。
		・ 後期高齢者医療特別会計	82万8000円を追加し、総額を6582万8000円とする。
		・ 介護保険特別会計	918万3000円を追加し、総額を8億718万3000円とする。
		・ 競輪事業特別会計	7億2996万円を減額し、総額を142億4004万円とする。
		・ 温泉事業特別会計	7万2000円を追加し、総額を2507万2000円とする。

条例の一部改正

- 村税条例
- 国民健康保険税条例
- ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例
- 老人医療費助成に関する条例

その他の議案

- 定住自立圏形成協定の締結について
- 燕市と定住自立圏協定を締結することについて議会の議決を求めるもの
- 字の変更について
- 県営土地改良事業の施行に伴い、大戸地区の区域内の字を変更するもの

質疑 総質

9月9日

一般会計補正予算

避雷針があるのに落雷

小熊議員 「グループホーム
こいて」の修繕費100万円
の内容は。

住民福祉課長 落雷による火
災報知機の受信機、エアコン
室外機、貯水槽のポンプなど
の修繕費。

小熊議員 避雷針があるにもか
かわらず落雷が発生してい
る原因は何か。今までも発
生していたのか。また、落雷
事故は保険で対応か。

住民福祉課長 近くに電話会
社のアンテナが建てられてか
ら、3回発生している。関係
がないか電話会社に問い合わ

せをしている。保険で対応す
る。

地盤が弱い

村営グラウンド

小熊議員 体育施設工事請負
費250万円の内容は。

教育課長 村営グラウンドの
連絡通路に地盤沈下による段
差が生じたための舗装工事で
ある。

一帯は地盤沈下が顕著に表
れている。今後、中学校の大
規模改修と合わせて考えてい
きたい。

AEDを入れ替え

赤川議員 公共施設のAED
賃借料32万3000円の内容
は。

総務課長 役場本庁、サンビ
レッジ、中学校体育館の3台



地盤沈下した連絡通路



役場入口のAED

分で、耐用年数が来ているた
め、リースに入れ替えるもの。

想定を超えるようであれば、
柔軟に対応したい。

防災メール

配信システム

使用料13万円

阿部議員 防災メールの供用
はいつからで、何人分の使用
料か。

各関係者はもちろん、出来
るだけ大勢の方の登録が望ま
しいのでは。

総務課長 供用は10月からで、
1000人の登録を想定した。

防災行政無線について

武石議員 燕市の長辰集落で
は、各戸に防災無線の受信機
が設置されている。そのよう
な装置が有効ではないのか。

総務課長 今回防災メールを
予算計上している。防災ラジ
オについては試算しており、
新年度に要求を上げたい。

防災無線の受信機について
は前向きに検討したい。

農地保全事業

志田議員 多面的機能支払分
担金131万円の内容は。

産業振興課長 今年から取り
組む麓二区64・84haと、弥彦
走出地区66・68haの2地区分
で、農地の維持と長寿命化の
取り組みである。

弥彦公園整備工事費

500万円

本多議員 弥彦公園整備は何
年続き、その総事業費と内容
は。

建設企業課長 都市公園安全
・安心対策緊急総合事業が変
更になり、30年までとなる。



園路入口のバリアフリー工事

総事業費は、今回の補正ま
で4億970万円。今後、
園路の舗装、バリアフリー化
で6000万円ほど見込んで
いる。

陸上競技場転圧用
ローラー

武石議員 陸上競技場の転圧
ローラーは、どのような機能
か。

教育課長 単なる転圧式のも
の。

武石議員 だがどの程度使
用するのか。十分な安全面の
配慮はされているか。

教育課長 使うのは陸上競技
協会の指導者と中学校の陸上
担当の先生。

安全に十分注意するように
指導したい。

国保会計補正予算

予備費で3810万円

阿部議員 基金と予備費を合
わせて8020万円となるが、

今までの医療費の状況と今後
の見通しは。

住民福祉課長 4月から7月
までの医療費は、昨年同月比
で15%増、高額療養費は8月
までに30%増で推移している。
今後の推移を注視したい。

阿部議員 平成29年度をめぐ
に、県単位での運営と言われ
ているが、国保運営協議会で
はどのような議論がされてい
るのか。

住民福祉課長 弥彦村の保険
税率は、県下30市町村の中で
下から4番目と低い。

県単位に
統一されれ
ば当然税率
は上がる。

「急激に上
がることの
無いように」
という意見
も出ている。

定住自立圏形成協定

費用の負担割合は

本多議員 「必要な費用が生
じるときは、相互の受益の程
度を勘案し、当該費用を負担
する」とあるが、燕市との連
携事業では、負担割合が決ま
っているのでは。

総務課長 負担は利用割合に
よって変わってくるので、単
に10対1ではなく、受益に応
じて負担が生じるという意味
である。



9月30日に行われた協定調印式

平成25年度 会計決算認定

()内は前年度決算額

一般会計歳出決算額

37億8,822万円
(36億5,618万円)

国民健康保険特別会計歳出決算額

7億7,692万円
(8億3,480万円)

後期高齢者医療特別会計歳出決算額

6,048万円
(5,974万円)

介護保険特別会計歳出決算額

7億4,917万円
(7億5,376万円)

競輪事業特別会計歳出決算額

151億3,208万円
(152億8,348万円)

温泉事業特別会計歳出決算額

2,632万円
(2,279万円)

水道事業会計：収益的収支

総費用 1億9,086万円
(1億9,834万円)

当年度純利益 2,109万円
(1,886万円)

下水道事業会計：収益的収支

総費用 4億 514万円
(3億9,885万円)

当年度純利益 4,523万円
(1億1,390万円)

決算の内容は、広報やひこ10月号を
ご覧ください。

決算 審査 9月16日

平成25年度の一般会計・特別会計及び
企業会計、計8会計の決算が、本多克・
武石雅之両監査委員の審査意見書を添え
て提出され、9月16日の本会議で慎重に
審査を行い、決算は妥当なものと全会一
致で認定しました。
以下、主な質疑と答弁は次のとおりで
す。

一般会計

体育施設の老朽化

安達議員 老朽化している施設と内容は。

教育課長 森林テニスコートの人工芝が傷んでいる。

陸上競技場は、かなり老朽化している。

ふるさと納税と 寄付金

安達議員 弥彦村もふるさと納税を募集しているが、25年度の額および用途は。

総務課長 25年度は県外から1件1万円、村内は95万5000円寄附があった。用途は、福祉事業、文化・教育・スポーツ振興事業、地場産業活性化事業。

保育園の民営化は

あり得ない

阿部議員 25年度の入園児数は弥彦・二松・ひかり、3園の定員320人対し、305人、特にひかり保育園の減少が大きい。今後さらに減少が予測されるが、保育園の民営化はあるのか。また、統合を考えているか。

村長 子育てに力を入れてい

る村として保育園の民営化はあり得ない。統合は、よほど極端な園児数の減少でもない限り、3園体制を維持したい。

園芸振興の

支援事業とは

阿部議員 施設園芸に対する各種支援事業とは、具体的にどのようなものか。

産業振興課長

生産調整をした園芸作物に対する助成や枝豆のトンネル資材等への助成である。

阿部議員 野菜、切り花のブランド化に対する取り組みは。

産業振興課長

ハウス野菜の面積が減少しており、花卉に取り組む人数は少ない。面積の拡大、面積の維持に努

園児の減少が大きいひかり保育園



めていきたい。

冠のついた競技は

小松議員 体育振興事業の内容は。また、冠のついた競技大会を実施できないか。

教育課長 体育振興事業は、

スポーツ推進員、スポーツ少年団、体育協会等に協力を依頼している。冠のついた大会は野球リーグ戦のみ。新しく冠をつけられる競技があれば検討したい。

旧観光施設の状況は

小松議員 駅前の施設が駐車

場に整備され景観も良くなった場所もあるが、旧ホテルは廃業状態であり、防犯、景観、税等に大きく問題になっている。顧問弁護士に相談されているが進ちよく状況は。

副村長 県は、26年度中に公

売できなければ債権放棄するようであり、今の状態のままにしておくのも限界であるの



仮囲いされた旧ホテル

で方向付けを早急にまとめた

女性管理職の登用

無料クーポンの利用は

赤川議員 がん検診（大腸が

ん・乳がん・子宮がん）の無料クーポン券が発行されているが、その受診者数と受診率は。

住民福祉課長 大腸がん15

7人で26・6%、乳がん105人で37・8%、子宮がん69人で31・5%であった。

本多議員 弥彦村の女性管理職の現状と今後の考えは。保育園長は職責を考えると相当と思うが。

総務課長 管理職は21名、うち2名が女性（課長補佐）である。

村長 管理職については、あくまで能力主義で、女性も昇進できる。

園長については、現時点では明確に答えられない。今後検討したい。



大戸農村公園の遊具

児童公園の
遊具について

武石議員 児童公園の遊具は、どのような基準で撤去しているのか。

危険なのは全部撤去していくというのは短絡的でないか。建設企業課長 村で管理している公園は19カ所ある。

これ以上修繕が効かない段階で、区長さんと協議し撤去している。

遊具を通じて子どもたちは身体、精神的、社会的な面で成長していくと思う。使用状況や地域全体の配置も踏まえて検討していきたい。

投票時間繰り上げの
影響は

花井議員 弥彦村では、選挙の投票終了時間を2時間繰り上げているが、投票率に影響はなかったか。

総務課長 期日前投票を午後8時まで役場でやっており、それを利用する人が増えている。

花井議員 第一投票区（走出・弥彦・上泉地区）の投票所は、元の投票所があった場所に建設された「ヤホール」にした方が、高齢者にとって便利と思うが。

総務課長 選挙管理委員会には、そういった苦情は届いていない。要望があったということは、選挙管理委員会で伝えたい。

温泉事業会計

基金の積み立てを

志田議員 温泉会計から一般会計への繰り出しを削減し、基金積み立てを多くしてはどうか。

総務課長 25年度は1000万円繰り出し、26年度は950万円を見込んでいます。基金は4200万円あり、決算の

段階で剰余金が見込まれれば、基金に積み増しをしたい。

水道事業会計

老朽化対策は

志田議員 浄水場の老朽化対策に対する対応は。

建設企業課長 老朽化した施設の耐震化など健全化計画・長寿命化計画を策定し、計画的に改築更新を図っていく。



改築が計画される浄水場

付託された条例改正2
案件、補正予算1案件、
その他議案2案件、請
願1案件は、それぞれ
全会一致で可決・採択
しました。

主な質疑事項

条例改正

問 軽自動車の課税と重課税の導入はどのようになるか。

答 平成27年4月1日以降に新規登録する三輪・四輪は、平成28年度の課税から、新税率が適用される。現在登録されている軽自動車は、現行どおりの税率である。原付および二輪は来年度から新税率となる。弥彦村では原付360台、農耕用小型特殊420台の登録がある。

重課税の導入については、平成28年度から、13年を経過

軽自動車税の見直しの概要

税率の見直し

(1) 四輪以上及び三輪の軽自動車
(平成27年4月1日以後に新規取得される新車から適用)

		現行	改正
① 四輪以上	乗用・自家用	7,200円	10,800円
	乗用・営業用	5,500円	6,900円
	貨物用・自家用	4,000円	5,000円
	貨物用・営業用	3,000円	3,800円
② 三輪	—	3,100円	3,900円

(2) 原動機付自転車及び二輪車
(平成27年度分以後の軽自動車税に適用)

		現行	改正
① 原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
② 二輪の軽自動車	(125cc超250cc以下)	2,400円	3,600円
③ 二輪の小型自動車	(250cc超)	4,000円	6,000円

重課の導入

最初の新規検査から13年を経過した四輪以上及び三輪の軽自動車の標準税率を次のとおりとする。(平成28年度分以後の軽自動車税に適用)

① 四輪以上	乗用 自家用	12,900円
	乗用・営業用	8,200円
	貨物用・自家用	6,000円
	貨物用・営業用	4,500円
② 三輪	—	4,600円

した三輪・四輪に適用される。措置である。

定住自立圏形成協定の締結

問 特別交付金の用途は。

答 定住自立圏形成協定に基づき実施する事業に対する財

付託案件外

問 各地で土砂災害が発生しているが、ハザードマップの

見直し・改訂と警戒区域等の

指定の取り組みは。

答 井田・山岸・山崎・畷地区は、昨年指定された。今年度ハザードマップの改訂作業を行う。麓から上泉地区は、今年度指定の予定。その後ハザードマップを更新したい。

問 来春、高校入試制度が変更されるが、対応は。

答 各高校の入試方法は公表されており、近隣の高校の説明会も実施され、中学校での進路指導も適切に行われる。

問 全国学力テストの結果は。

答 弥彦村では結果の公表はしていない。全体の正答率は若干向上している。日常の授業の改善に活用したい。学習状況調査では、家庭学習・学習・復習の時間が短く、ゲームやメール、ネットの時間が長いという調査結果であった。

広報やホームページで周知し、防災メールの登録を願いたい。
問 県道矢作・長崎線の二重口橋付近で、交通事故が多発しており対策が必要と思うが。
答 今年度、防雪ネットの設置工事が行われる。県と協議し、信号の設置も検討したい。

問 小学校の調理室ドライ化
工事が行われているが、弁当
持参の状況は。

答 児童479人中、弁当持
参は、136人、業者弁当は、
メニューによって若干違いが
あるが、約340人が利用し
ている。

問 学力向上に関しては、学
習規律より家庭学習、予習・
復習が大切ではないか。

答 どちらも大事なことであ
り、両面から取り組んでい
かなければならない。

お詫びと訂正

6月議会で同様の質疑がありました。7月
25日号、委員会報告(P6)で「家庭教育」の
記載は、「家庭学習」の誤りでした。お詫びし
て訂正いたします。

教育課長 燕文化会館の改修
に伴い、舞台用の照明器具・
音響設備を譲り受ける経費に
ついて、補正対応をお願いし
たい。運搬、据え付けで20
0万円程度と思う。

厚生産業常任委員会

道路補修工事の内容は

9月10日

付託された条例改正2
案件、補正予算5案件
は、それぞれ全会一致
で可決しました。

排水処理、井田地内の路肩補
修、上泉地内の側溝新設工事
である。

要望 西川ガード下は、何度
も補修するより、根本的に解
決するよう検討し、改善して
ほしい。

800台が駐車できる。矢作
地内に駐車場500台分用意
し、JR矢作駅を利用しても
らう。

JRは、通常運行の他に1
往復の臨時便が運行される。
新発田から乗り継ぎなしの電
車も1本用意している。
会場と駐車場を含め、15
0人のスタッフを予定してい
る。

主な質疑事項

補正予算

問 道路補修工事700万円
の内容は。

答 大戸地内の西川高架橋ガ
ード下舗装補修、大戸団地の

付託案件外

問 ご当地グルメグランプリ
は7万人の集客を見込んでい
るが、道路の渋滞緩和策と駐
車場対策は。

答 弥彦地内の駐車場は、1

要望 乗り換えなしの電車が
都合がいい人もいますので、も
っとPRに力を入れてほしい。



大盛況だったグルメグランプリ

問 遊休農地や無断転用農地の有無などを調査するパトロールが全国で行われているとの報道がある。本村に遊休農地、無断転用農地はあるか。

答 本村もパトロールを行っている。一時耕作をしていない。

い遊休農地はあるが、雑木が生えたりして耕作ができない耕作放棄地はない。無断転用を見つけた場合、転用申請を出すよう指導している。

要望 遊休地を利用し景観作物を栽培したり、小学生や保育園児など地域と密着し、地域農業の活性化に努めてほしい。

問 大戸企業団地に他の会社

に譲渡された企業が所有する土地があるが、影響が出ているか。

答 団地造成時の契約では、勝手に売買できないことになっているのではないかと。影響は出ていない。

進出時の協定では、基本的に会社が社屋を建てるとなっているが、経営的な面から名義に関わることはやむを得ないと考えている。

競輪特別委員会

「ヤホール」の競輪映像は

9月9日

付託された補正予算1案件は、全会一致で可決しました。

問 包括運営委託の競輪場が増えたのであれば、臨時場外開設委託料は増額となるのではないか。

答 寛仁親王牌競輪の売り上げ減少が大きかったため、売り上げに連動する経費である臨時場外開設委託料が減額となった。

の経緯は。

答 臨時場外の普通競輪は、ほとんど平日開催で売上が伸びないため、経費負担が難しいので、予想欄をやめて開催

告知の広告に切り替えた。彦競輪と記念競輪以上の場外発売は、今までどおり掲載している。

主な質疑事項

補正予算

問 従事員賃金減額の内容は。

答 弥彦競輪場の開催日数が1節3日少なくなったため、嘱託員従事員賃金が減額し、今年度から包括運営委託した競輪場があり、臨時場外従事員賃金が減額した。



親王牌競輪の売上は92億8千万円

付託案件外

問 「ヤホール」の競輪映像の管理はどのようにしているか。

答 「ヤホール」を管理しているNPO法人に依頼し、毎日放映している。

問 新潟日報に予想欄が掲載されていない日もありますが、そ

意見書の提出

・「学費と教育条件の公私間格差是正に向け、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願（請願者 新潟県私学の公費助成を進める会会長）

以上の請願を総務文教常任委員会および本会議において採択し、内閣総理大臣ほか関係機関、新潟県知事等に意見書を提出しました。

全国門前町ザミットランにむら

弥生さん こんにちは、弥彦での国際ご当地グルメグランプリは、販売開始前から長蛇の列となつて大盛況でしたね。ギカイ君 はい。弥彦村で初

町サミットが開催されたと聞きました。どのようでしたか。

ギカイ はい。10月4・5日第12回全国門前町サミットin

ことひらが香川県琴平町で開催され、弥彦から20人で参加いたしました。

こんにちは 弥生です

初めてのグルメグランプリが行われ、大勢の方から弥彦へおいでいただきました。

人気投票も弥彦むすめイカメンチが一位になり、弥彦のPRにもなりました。

弥生 それは良かったですね、ところで、同じ日に全国門前

金比羅宮参拝、門前町自治体情報交換会、基調講演、サミットリング伝達式、2日目は、こんぴら石段マラソンなどが行われ、全国から大勢の人が訪れて大賑わいでした。弥生 こんにちは船々の唄は、全国でも有名で誰もが口ずさめますが踊りもあつたのですか。

ギカイ 琴平高校の生徒や、町の保存会のみなさんと町内婦人会、五条あゆみの会など大勢の皆さんが色とりどりの衣装で踊ってくれました。小学生の木戸芸も良かったです。

よ。

弥生 門前町の様子や石段はいかがでしたか。

ギカイ 門前町から奥社までの石段は、1365段、本宮

まで785段の石段道路で境内入り口までの両側にお土産屋さんがずらりと並び賑わっていました。登り口にはかこ屋さんが居て、有料ですが乗

せてもらえます。境内入り口の大門まで365段の石段を上下しています。全国唯一の登山かごで利用者も多いとのことです。

弥生 うどんは、美味しかったですか。

ギカイ 讃岐うどんと言われ、艶と食感がとても良く、天ぷらなどトッピングすれば最高のうどんが楽しめます。

一度に2玉をペロリといただきます。うまい！さすが讃岐うどんでした。

弥生 次回はどこで門前町サミットが開かれるのですか。ギカイ 大分県の宇佐市で開催されます。

弥生さんもぜひ門前町サミットに行ってみてください。弥生 そうですね。来年のサミットには参加させていただきます。楽しみにしています。



宇佐市へ伝達した門前町サミットリング

4期目の施策に子育て支援のさらなる強化を

村長 = 子育て環境の整備と負担の軽減が最も重要



阿部正秀議員



二松保育園・七夕のつどい

質問 旧グラウンドホテル跡地利用については、PFI事業の導入により施設の管理運営を民間が行う湯神社温泉の源泉を利用した、健康増進機能を有する施設の建設計画が示されている。

スケジュールどおりに進められていると思うが、現段階の進捗よく状況を伺う。

村長 現在、委託業者が民間活力の導入可能性調査を行っている。業者の選定は、提案の内容に重点を置いた「プロポーザル方式」に

より、八千代エンジニアリング(株)と契約を交わした。

委託期間は、平成26年7月11日から11月14日までの4カ月間。調査結果は、12月議会で説明したい。

質問 人口の減少は、地方の自治体において、喫緊の課題となつてい。人口減少対策は、少子化対策・高齢化社会対策であり、また子育て支援対策でもある。今後の子育て支援は今まで以上に重要な施策ではないか。

4期目の施策の柱の1本として人口減少対策といわず、人口増加策として、子育て支援策のさらなる強化に取組んでほしい。

村長 本村では、子育て支援策としてさまざまな施策を講じてきた。保育園の統合・大規模改修、乳児の6カ月からの預かり保育や一時保育・延長保育などの保育サービスの充実や児童のための学童保育の助成、各種予防接種助成、さらに産まれてから中学校卒業までの医療費の助成など、近隣に先駆け

国は、子ども・子育て支援法を策定し、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の充実を図っている。本村では、これに向け、弥彦村子ども・子育て会議を新規に立ち上げ、一回目の会合を開催した。「子どもたちが元気に育つ学びと交流の弥彦」を基本理念として策定される事業計画のもと、堅実に実行していきたい。

少子化対策は、子育て環境の整備と負担の軽減を柱とする施策が最も重要。どこまで踏み込んだ施策ができるか真剣に検討したい。

質問 小・中学校の給食費の無償化や保育料の負担の軽減はどうか。

村長 給食費の無償化については、第3子以降はぜひ取組んでいきたいと思つている。保育料の軽減や、出産育児金の上乗せ助成なども内部では検討している。

段階的に一つでも二つでも、必ず前進・充実するよう来年度予算で具体的な方向性を提示していきたい。



本多隆峰議員

グランドホテル跡地計画の推進を

村長 = 「平成の湯治場」健康と癒しの里に



ホテル跡地での特産品イベント

質問 弥彦村は県内有数の観光地である。近年の日帰り温泉ブームも重なり、旅館・ホテルの宿泊利用者数が減るといった状況が続いてきた。

グランドホテル跡地の計画は、白紙に戻すべきとの意見もあるが、少子高齢化が進み、より健康志向の高まる中で、健康増進型施設および平成の湯治場の発想をもとに、健康ニーズに応えるべく、今こそ取り組むべきと考える。

村長の「平成の湯治場」として

の発想はどのようなことを意図しているのか。

村長 跡地に整備したい施設は、湯神社温泉を利用した温水プールでの水中運動や、水圧による血流改善などのほか、弥彦公園、弥彦周辺環境を利用した屋外運動を複合的に結び付けた健康増進施設とするものである。

拠点となる施設を整備することにより交流人口の増加を図ることを目的としている。

施設をイメージしてもらうため「平成の湯治場」が、最も私の考えに近いものとして使っている。そして、国内では、数少ない「温泉を活用した施設」とし、大勢の方が弥彦に足を運んでくれることを期待している。

宿泊施設を含むのか

質問 滞在しながら施設を利用してほしいとのことであるが、宿泊施設を含むのか。

また、既設の旅館・ホテルが対応するのか。関連事業者との協力

体制についても一抹の不安を感じるが、それに対する考えは。

村長 現在、この施設の可能性調査を行っており、宿泊部分を併設するかは、調査結果を踏まえての判断になる。村内の既設旅館・ホテルで安価での長期滞在が可能かどうかは、温泉観光旅館組合と協議したい。

健康増進施設に隣接して、地産地消による地元農産物を活用した農家レストラン等も検討し、利用者が近くで健康的な食事ができる環境を整え、既存の関係団体と連絡調整を十分に行いながら、事業計画を進めていきたい。

弥彦に長期滞在していただき、この施設を利用して、弥彦山、弥彦公園、近く整備される城山森林公園を含め、弥彦の街一帯が健康と癒しの里として、平成の湯治場構想が出てきている。

弥彦村の現状と発展を考えた場合、この事業を一步でも早く前進させ、一日でも早く完成させたいと強い気持ちでいる。



志田 武議員

若い農業者の確保を

村長 = 国の助成施策の活用で支援

質問 実りの秋・収穫の秋も最近では豊作を素直に喜べないのが現状である。

コメの消費量の減少、在庫持ち越し量の増加で仮渡し金が減額し、加えて直接支払制度の変更で支払金が半減され、円安で灯油をはじめ生産資材が高騰し、再生産もおぼつかない状況となっている。

政府は、担い手への農地の集積、大規模経営でコスト削減による競争力のある農業を目指す政策のもと、農地を拡大したい人、農業を



作業の進むイチゴハウス（アグリさくら）

やめたい人の中間的な受け皿として農地中間管理機構という制度を立ち上げた。

村でも農地の借受希望者を募集し、今後、貸付希望者も募集するが、現状はどうか。

村長 借受希望者の募集については、村内の認定農業者等への周知を行った。15農業者から応募があり、受託希望面積は、35・3haとなっている。

貸付希望者については、応募期間を明記し、JAの正組合員を対象とし、農家組合長に配布を依頼した。

村独自の

新規就農者育成策を

質問 新たに農業者を目指す青年等の確保を目標として、農業経営基盤強化促進に関する基本方針として国・県・村でそれぞれ目標を掲げているが、これらの取り組みをどのように考えるか。

村長 国の各種助成施策を広く周知活用し、助言・支援していく。

さらに地域の担い手となる後継者の育成、生産組織の法人化、「人・農地プラン」への取り組みなど、JA・関係機関と連携して支援を検討したい。

質問 村内には、指導的な農業経営をしている指導農業者・青年農業者・生産組織、それに農業に意欲を持つ若手の農業者など多くいるが、その人たちが集まり、今後の弥彦村の農業の在り方などを話し合う場が必要であると思うが。

村長 農業振興という大きな施策の中で、今まで以上に良質米の生産拡大、無無米（特別栽培米）など売れるコメづくりへの支援の強化、若手農業者を含めた関係の農業者の横断的な体制の設置に取り組みたい。



東都生協の稲刈体験



赤川 幸子 議員

子ども子育てアンケート結果は

村長 = 調査結果を計画に反映させたい



ひかり保育園運動会

質問 来年4月「子ども子育て支援新制度」がスタートする。制度

にむけてアンケート調査が行われたと思うが、結果はどうだったか。

村長 5年を1期とする、子ども子育て支援事業計画を作成するため、村内在住のゼロ歳から5歳児を持つ全世帯を対象に、保育園經由、未就園児は郵送で本年3月に実施した。配布は344部、回収は261部で回収率は75・9%であった。

母親の一週間の就労が79・1%

と前回調査より高くなっている。

就労時間も8時間が多く27・4%、5時間で19・9%である。母親が家を出るのは8時、帰宅するのは、18時が最も多かった。

調査結果を基に何を必要としているかを検討し、計画に反映させていきたい。

質問 病児病後児保育の項目はなかったのか。

住民福祉課長 子どもが病気・ケガ等の時、父親が休んだ20・5%、母親が休んだ80・1%、親族知人に頼んだ51・1%であった。

病児病後児保育施設を利用した人43・3%、利用したいと思わないが56・6%の回答で、利用しない理由は、他人に見てもらいたくない不安がある65%、親が休み対応する49・3%であった。

質問 病児病後児保育を利用した人43%の対応は。

住民福祉課長 4月から燕市で取り組みを行っている。村も定住自立圏の事業で燕市と計画を進めていく。

質問 保育料の階層区分の見直し

はできないか。

村長 保育料軽減の中に保育料見直しも入っている。軽減の方向で考えていきたい。

質問 放課後児童クラブは4年生までである。他市町村には児童館がある。本村の考えはどうか。

村長 児童館の必要性については十分認識しているが、放課後児童クラブも3カ所あり、長期キッズの対応もあるので充実しているのではないかと思う。

質問 弥彦村教育振興計画の中に認定こども園が書いてある。子ども子育て新制度にも認定こども園が書かれている。認定こども園の考え方は。

教育長 教育振興計画には、認定こども園化していく方向で検討すると書いてあるので、この方向で進むべきと思っている。関係の住民福祉課とも連携しながら、子育て支援会議でもいろいろ意見を聞きながら、取り組んでいきたい。

町村議会広報研修会

県町村議会議長会主催の町村議員広報研修会が、7月23日(水)、新潟県自治会館で開催されました。はじめに、阿賀町議会、湯沢町議会、関川村議会の広報委員長がそれぞれ事例発表を行い、質疑応答(意見交換)が続きました。

その後、エディター、株式会社メディアブレーン代表・吉村清氏から「読まれる広報づくりのポイント、文章・レイアウトのポイント、メディア連携で広報を活性化する」という講演が行われ、4町村の広報クリニックが行われました。

研修会で指摘されたポイントに気をつけながら、議会だよりを編集していきたいと思えます。



発言する赤川広報特別委員長

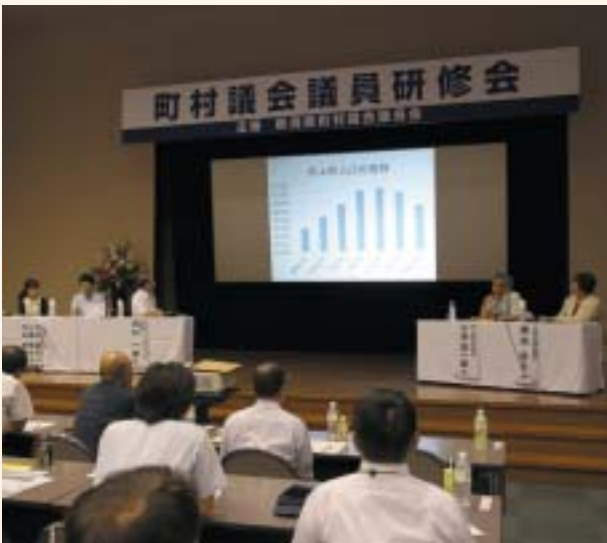
県町村議会議員研修会報告

8月29日、新潟県自治会館で、新潟県内の町村議会議員が一同に会して、議長会主催による研修会が行われました。

はじめに、駒澤大学・大山礼子教授による「これから求められる町村議会の役割」と題して講演があり、続いて、新潟県立大学・田口一博准教授、田上町・小池真一郎議員、刈羽村・横田信子議員に新潟県立大学の学生3人を加えて、「議会でどう議論すべきか？人口と農業を考える」シンポジウムが行われました。

最後に、時事通信社解説委員・田崎史郎氏による「日本の政治はよくなるか」と題して、政治を見る視点、内閣改造、消費増税、北朝鮮等についての講演がありました。

身近な農業問題から、国政、外交と幅広い分野での研修となり、参加議員は熱心に聞き入っていました。



学生も参加したシンポジウム

あとがき

9月27日、御嶽山が突然噴火しました。

亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

国際ご当地グルメグランプリは、6万9000人の来場者で、大盛況の開催でした。

見事グランプリに輝いたのは、やひこ娘イカメンチ(弥彦村)、二位は、サザエの炊き込みご飯(出雲崎町)、三位は、柏崎鯛茶漬(柏崎市)でした。やひこ娘イカメンチには、連日長蛇の列ができました。

11月の菊まつり、もみじ谷の紅葉にも大勢の方から弥彦へ来てほしいものです。

議会広報研修会を受け、紙面を少し変更しました。

多くの村民から読んでいただける議会報を目指し、今後も頑張つてまいります。

(A)

発行責任者 本間博明
編集委員会 赤川幸子 志田 武
小熊 正 安達丈夫
小森順一

印刷所 弥彦村 イナバ印刷